調査対象物質	地方	地方 地点 超杰地上		測定値			報告時
	公共団体	番号	調査地点	検体1	検体2	検体3	検出下限値
[1] 1-アミノ-9,10-アントラキノン	岩手県	1	豊沢川(花巻市)	nd	nd	nd	0.23
初期環境調査・底質(単位:ng/g-dry)	秋田県	2	秋田運河(秋田市)	nd	nd	nd	0.52
地点ベース検出頻度:1/15(欠測等:0)	東京都	3	荒川河口 ( 江東区 )	nd	nd	nd	0.41
検体ベース検出頻度:1/45(欠測等:0)	米水即	4	隅田川河口(港区)	nd	nd	nd	0.43
濃度範囲∶nd~7.1	横浜市	5	横浜港	nd	nd	nd	0.55
検出下限値範囲:0.23~0.84	川崎市	6	多摩川河口(川崎市)	nd	nd	nd	0.44
検出下限値:0.84	長野県	7	諏訪湖湖心	nd	nd	nd	0.84
要求検出下限値:20	愛知県	8	名古屋港潮見ふ頭西	nd	nd	nd	0.44
	名古屋市	9	堀川港新橋(名古屋市)	nd	nd	nd	0.32
	三重県	10	四日市港	nd	nd	nd	0.49
	大阪府	11	大和川河口 (堺市)	nd	nd	nd	0.41
	大阪市	12	大阪港	nd	nd	7.1	0.52
	岡山県	13	水島沖	nd	nd	nd	0.43
	福岡県	14	大牟田沖	nd	nd	nd	0.35
	福岡市	15	博多湾	nd	nd	nd	0.47

<sup>(</sup>注1)「検出頻度(地点ベース)」とは検出地点数/調査地点数(欠測等は除く)を、 「検出頻度(検体ベース)」とは検出検体数/調査検体数(欠測等は除く)をそれぞれ意味する。

<sup>(</sup>注2)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

<sup>(</sup>注3) nd:不検出